

水道用水供給事業

1 用水供給事業の現況

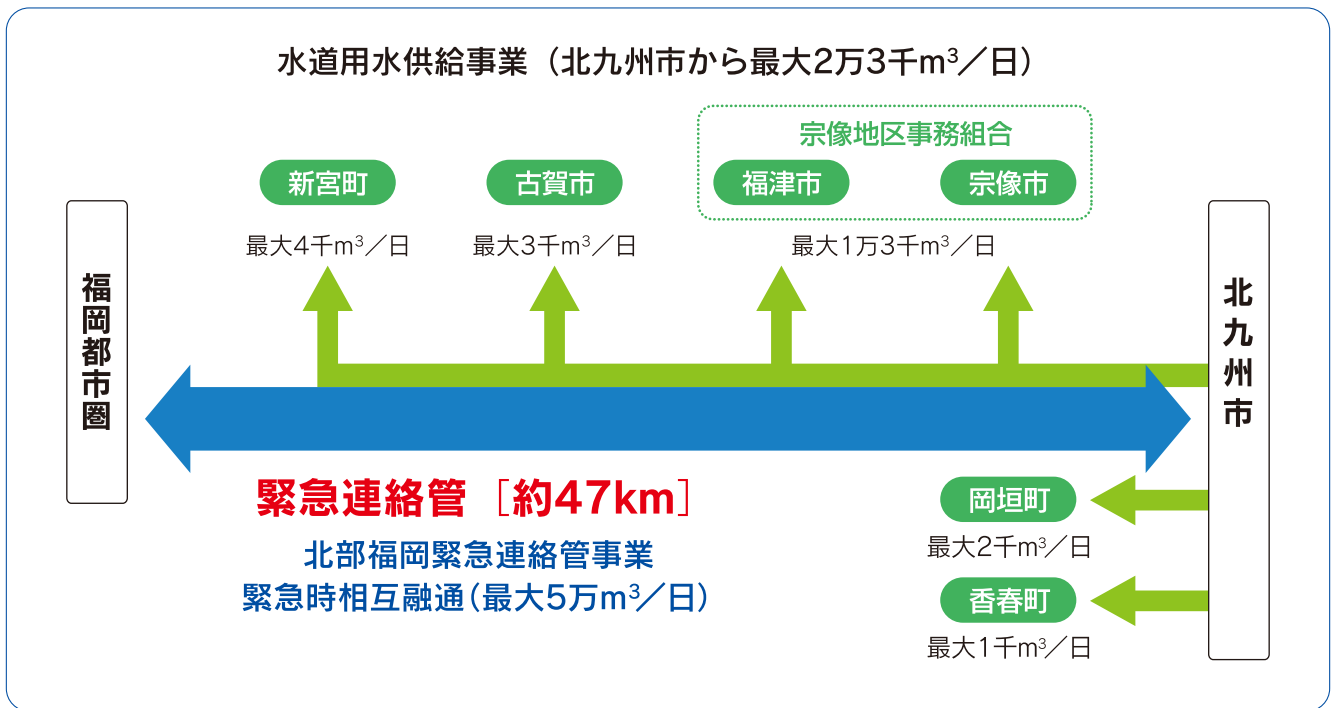
(1) 沿革・概要

北部福岡緊急連絡管の沿線3市1町（宗像市、古賀市、福津市、新宮町）において、水源水質の悪化や水量の不安定さ、施設の老朽化など、自己水源に課題を有していた。一方、緊急連絡管を災害時などに直ちに使用できるよう水質を保持するためには、常時、維持用水を流しておく必要があった。

このため本市は、緊急連絡管の維持用水を活用して一日あたり最大2万 m^3 の水道用水を供給する「北九州市水道用水供給事業」を平成18年10月に創設した。北部福岡緊急連絡管事業の共同事業として、平成18年度に事業着手し、平

成23年度から宗像市、新宮町に合わせて、1日最大1万3千 m^3 の供用を開始した。また平成28年度からは福津市、古賀市も加え、合計1日最大2万 m^3 を供給している。

さらに、緊急連絡管とは別の施設を使用し、平成27年度から岡垣町に1日最大2千 m^3 の水道用水の供給を開始し、平成29年度からは香春町にも1日最大1千 m^3 の供給を開始した。



(2) 給水状況

受水団体	一日最大給水量 (m^3 /日)
宗像地区事務組合	13,000
古賀市	3,000
新宮町	4,000
岡垣町	2,000
香春町	1,000
計	23,000